

津之郷学区まちづくり推進委員会

委員長 山崎 俊章

（問合せ先） 084-951-1002（津之郷交流館）

事業内容

（1）地域課題福祉事業

- ① ワクワクつのごう教室の開催（ 通年 交流館・保育所 120人 ）
- ② 成人対象講座（ 通年 交流館 108人 ）
- ③ 講演会・研修会の開催（ 10月26日 勝丸恭子気象予報士 124人 ）
- ④ いきいきサロン（ 毎週水曜日 交流館 798人/47回 ）
- ⑤ ウォーキングと学習を兼ねて学区民の健康を促進する（ 中止 ）
- ⑥ ばら花壇づくりと手入れ（ 通年 坂部ばら花壇 200人 ）



ブリザーブドフラワーの
クリスマスアレンジ

（2）ふれあい事業

- ① 運動会の開催（ 5月26日 津之郷小学校 600人 ）
- ② サマーフェスタの開催（ 8月3日 津之郷小学校 699人 ）
- ③ 自治会ふれあい活動（ 9月～1月 自治会 380人 ）
- ④ ふれあい広場の開催（ 11月3日 津之郷小学校 1,200人 ）

（3）コミュニティ育成事業 ごみの分別収集、地域環境美化、地域活性化

- （ 通年 ごみ分別収集 管理11自治会4,000人 ）（ 通年 河川等除草清掃作業 1,100人 ）
- （ 通年 各自治会内清掃作業 4,000人 ）

（4）生活安心安全事業

- 避難訓練の実施・土のう袋の作り方の研修・防災用品の研修
- （ 11月24日 第1次避難305人、研修会123人 計428人 ）

（5）まちづくり推進委員会運営事業

- 運営事業（ 通年 交流館 144人 ）
- まちづくり推進委員会開催 4回（ 通年 交流館 90人 ）



まつぼっくりのクリスマスツリー

成果

各事業では、地域の方々との交流や世代間交流をはかることができた。
また、オープンチャットを利用することで会議開催の案内など、スムーズな連絡ができた。

課題

世代間の交流を促進するために、行事への主体的な参加・活動を促せるよう工夫が必要。
予想される災害に対して、地域全体で危機意識を共有し防災に備えること。

課題解決にむけて

行事の準備・片付けを簡略化するといった運営の効率化をおこなう。
各種団体間でコミュニケーションをはかり、主体的な活動や課題解決に努める。

予想される災害(南海トラフ地震等)にそなえる！

《防災講演会》

10月26日(土)津之郷小学校体育館において勝丸恭子気象予報士の講演会を開催。

☆知ろう

◎防災は・・・

- ・ 3つのK「考える、気づく、行動する」が大切
- ・ 命を落とさないための準備→持っていないと困るものを優先して準備する
- ・ 津之郷町→地震対策を十分に！(長者ヶ原断層の影響から)

◎天気予報(気象庁HP)の最新情報をチェックする！(5時、11時、17時に更新)

《防災訓練》

11月24日(日)第1次避難は自治会ごとに、その後津之郷小学校において防災研修

☆作ろう

津之郷消防分団による土のうつくりの実践

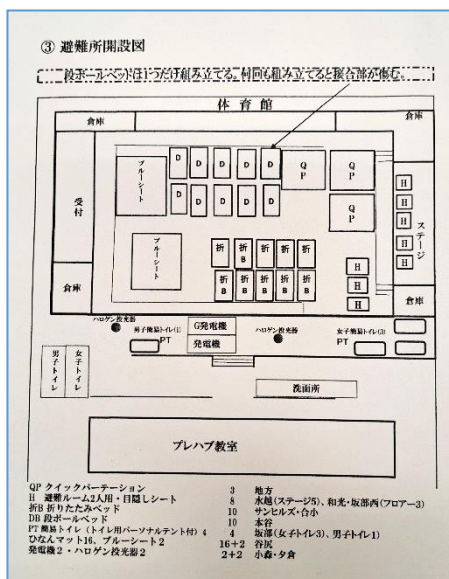
☆土のうのしばり口を下流に向けて、上流から積む。
2段目は1段目とつなぎ目が交互になるように積む。



土のう袋の半分くらいに土をいれるのがポイント

☆設置しよう・使ってみよう

避難所開設訓練→避難所設計図に基づいたテントなどの設置と防災用品の確認



〔避難所開設図のようにテントなどを設置〕